

ホワイトスペースを活用した“販い創出”支援 郡山市民メディア構想



「地域メディアミックス」による「地域情報化」の推進

郡山高度情報化システム研究会

本日の内容

- 郡山市と郡山高度情報化システム研究会のご紹介
- 実証実験・事業（化）概要
- 計画概要
 - サービス・エリアの拡大
 - 活用技術
- 事業化に向けて
 - 効果／収入規模推定
 - 利用シナリオを検討

郡山市と郡山高度情報化システム研究会のご紹介

全国区のコンテンツが乏しい地方都市



郡山市

人口:338,950人

大都市志向
・東京、仙台

全国区のコンテンツが乏しい
・特産品、名所名跡
・Jリーグ、プロ野球



市民自身による発信／活用

“市民の数だけ魅力ある街”
埋もれていた全国区コンテンツの発掘

全国地方都市の**サンプル**として

ICTで中心市街地の活性化を支援する

郡山高度情報化システム研究会

- ・郡山商工会議所会員33社
- ・部会、委員会を跨いだ研究会



ICTで支援する**中心市街地活性化**

郡山商工会議所
内外のまちづくりにも関与可能

実証実験・事業(化)概要

目指すところ

市民自身が地域の魅力/楽しみをつくり、発見、発信、参加するメディア実現を目指す

「郡山市民」

市民

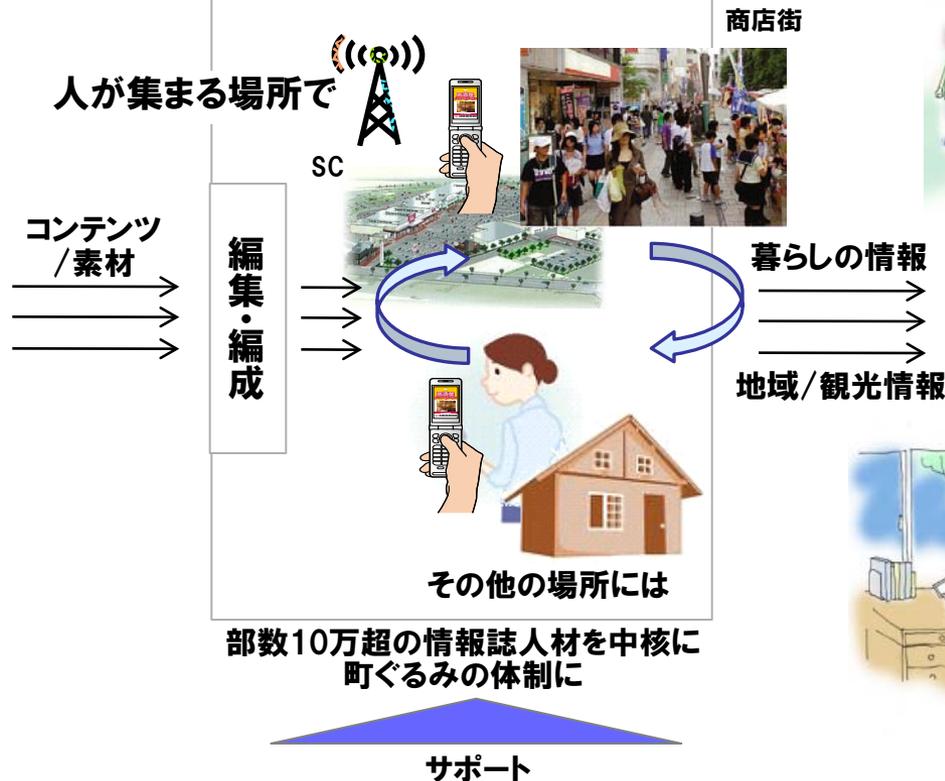
団体/サークル

商店

企業

公的機関

(仮称)郡山市民メディア

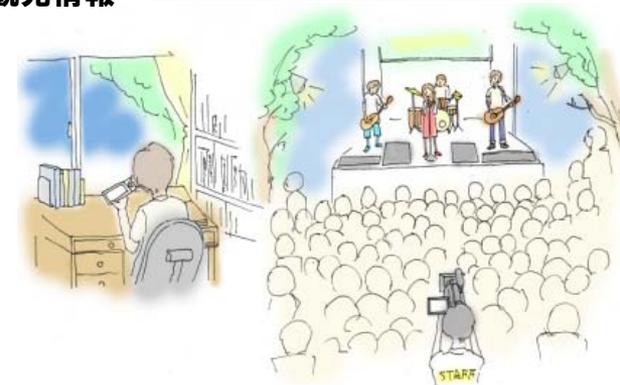


商店街



市民

出張者/観光客等

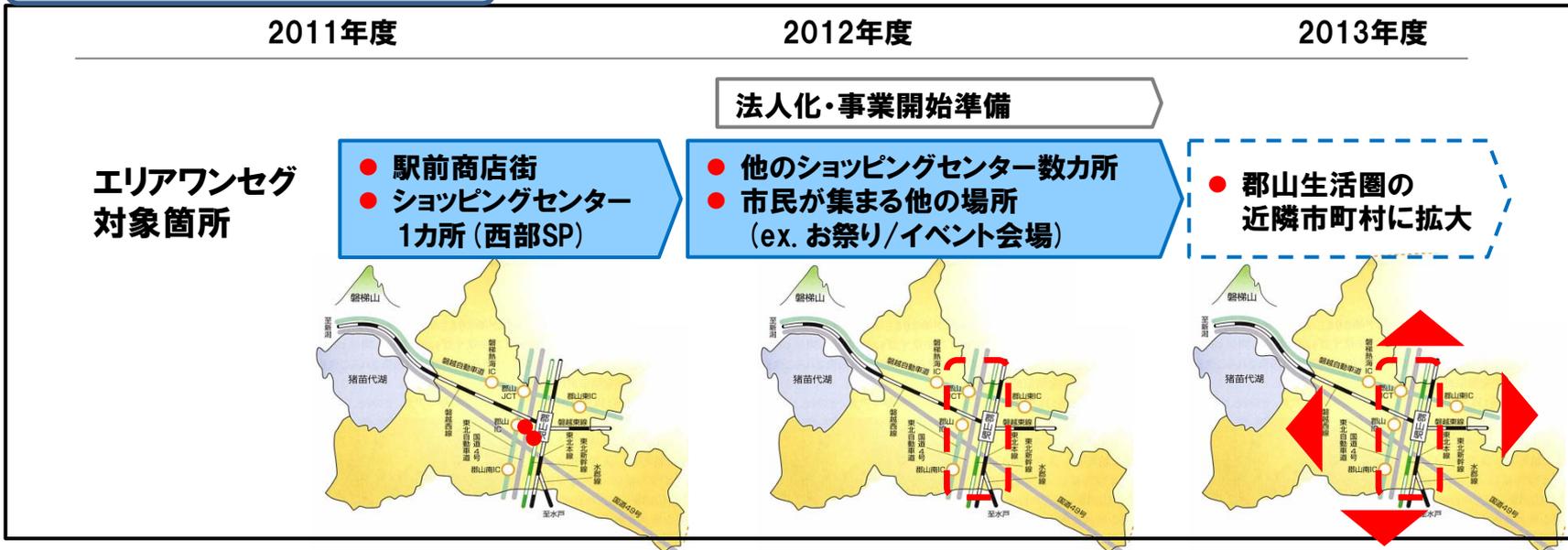


日立製作所、日立ソリューションズ、日本無線等

出所:商店街の写真は郡山市 第五次総合計画資料、SCはロックタウン須賀川

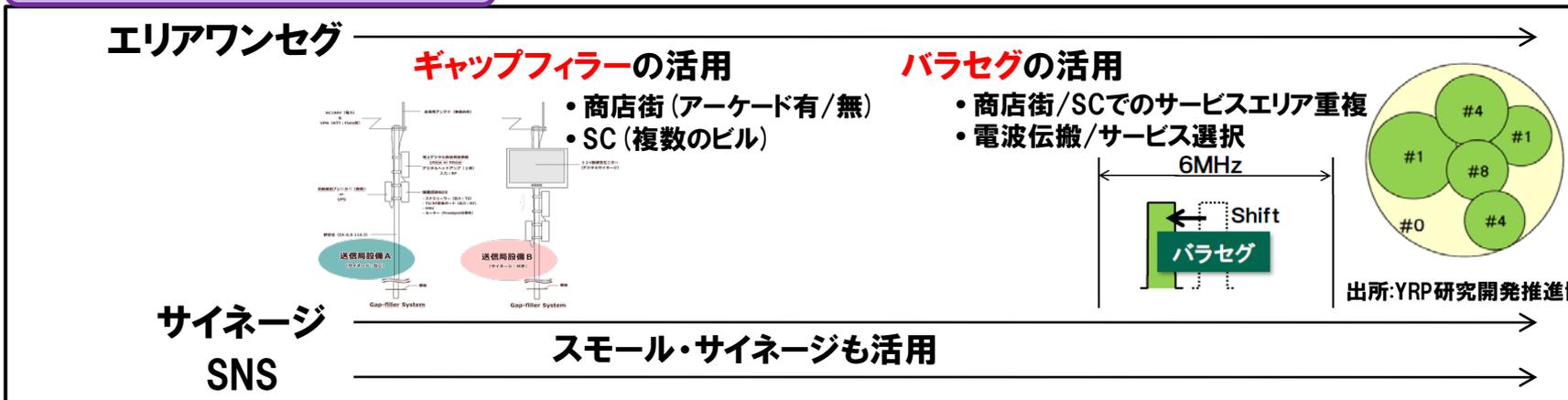
計画概要

範囲/対象地域拡大



上記地図の出所:郡山市 第五次総合計画資料

活用技術



事業化に向けて

先行10者にならって効果/収入規模を推定

小売企業の広告宣伝費・販売促進費をベースに算出

- 郡山市小売業年間販売額 4,166億円
- 小売企業の対売上広告宣伝費率 約1%と仮定
- 小売企業の対売上販売促進費率 広告宣伝比率と同等と仮定

832億円の広告宣伝・販売促進費市場

うち10%のシェアをとれると仮定すると、8.32億の広告・販促費収入



上記は仮定の数字。具現化にはシナリオづくりが不可欠

ビジネスとして確立・継続させるには

商店街の売上を向上するには

- ✓ 関心のきっかけづくり (例 チラシで〇〇フェア)
- ✓ 商店街に来る理由づけ (イベント、クーポン等)
- ✓ スムーズに買物してもらう動線 (マップ、POP等)



- ✓ 左記を含むシナリオを取り揃えていく必要あり
- ✓ シナリオを具現化するために必要なメンバーを入れた体制が必要



現在、街ぐるみの体制づくりとシナリオ検討を推進している